

数字で振り返る今年の十大ニュース

大阪府総務部統計課 情報・分析グループ

今年もいよいよ残り少なくなってきました。今年記録を更新した出来事を10個ピックアップして2012年を振り返ってみたいと思います。

すすむ晩婚化 (厚生労働省：人口動態統計2011)



全国の平均初婚年齢が、夫 30.7歳、妻が 29.0歳で、ともに前年を 0.2歳上回り統計開始以来最高となりました。

また、人口千人あたりの婚姻件数(婚姻率)も 5.2件で前年の 5.5件を下回り過去最低となりました。(大阪府は夫 30.7歳、妻が 29.2歳、人口千人あたりの婚姻件数(婚姻率)は 5.6件でした。)

出生数は過去最低 (厚生労働省：人口動態統計2011)



全国の出生数は、105万806人で前年より 2万498人減少しました。人口千人あたりの出生数(出生率)も 8.3人と前年の 8.5人を下回り、出生数、出生率ともに統計を開始した 1947年以降で最も少なくなりました。

また、第1子出生時の母親の平均年齢(初産年齢)は 30.1歳と、初めて 30歳を超えました。(大阪府の出生数は 7万3919人、人口千人あたりの出生数(出生率)は 8.5人でした。)

夏のボーナス額過去最低 (厚生労働省：毎月勤労統計調査)



今年全国の夏の賞与は平均 35万8368円で、前年の夏より 5884円(1.4%)減り、過去最低となりました。また、平均支給率は 0.97か月分で前年より 0.02ポイント低下しました。(大阪府では、平均 44万5395円で前年より 1万8641円(2.3%)減少しました。平均支給率は 1.26か月分で前年と同水準となっています。)

国の借金、過去最高の983兆円 (財務省)



国(政府)の公債残高は 9月末時点で 983兆2950億円で、過去最高となりました。内訳は、国債が 803兆7428億円、金融機関からの借入金が 54兆1853億円、政府短期証券が 125兆3669億円となっています。これを日本の総人口で割ると国民 1人当たり約 771万円の借金を背負う計算となります。

貿易収支赤字幅が過去最大 (財務省：貿易統計)



今年上半期(1~6月)の貿易統計で輸入金額(35兆5199億円)から輸出金額(32兆5948億円)を差し引いた貿易収支が、2兆9251億円となり過去最大の赤字を記録しました。半期ベースの貿易赤字は 3期連続となりました。

大阪の雷観測日数が過去最多（大阪管区气象台）



大阪で観測された年間雷日数が9月10日時点で31日となり、1931年の統計開始以来最も多くなりました。なお、平年値は年間16.2日。11月末時点では38日となっており記録更新中です。

大阪・梅田は日本一の百貨店街に



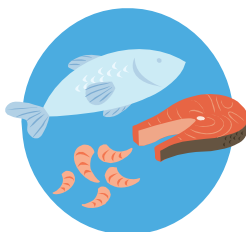
阪急百貨店梅田本店の建て替え工事が終わり全面開業したことにより、大阪・梅田地区にある4百貨店の売り場面積の合計は約26万3000平方メートルとなりました。同じく4百貨店を有する東京・新宿の約21万2000平方メートルを上回り日本一の百貨店街となりました。

日本初の低コスト航空会社（LCC）就航



3月1日に日本初のLCC、ピーチ・アビエーションが関西国際空港を拠点に就航しました。その後7月にはジェットスター・ジャパン、8月にはエアアジア・ジャパンが相次いで就航し、国内LCCは3社となりました。また、11月29日にはピーチ・アビエーションが国内LCC初となる累計搭乗者数100万人を達成しました。

マグロ1本 5649万円、築地の初競りで最高値

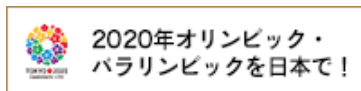


東京・築地市場1月5日の初競りで、マグロが昨年の最高値を2400万円上回る5649万円で競り落とされました。青森・大間産のクロマグロ269キロで、1キロあたり21万円となります。ちなみに、大阪市中央卸売市場のマグロの初競りの最高値は、養殖のクロマグロで1キロあたり3900円でした。

最多獲得のオリンピックメダル数



1912年のストックホルム大会の日本初参加からちょうど100年となる今年、7月27日から17日間開催されたロンドンオリンピックにおいて、過去最多のメダルを獲得しました。内訳は金7、銀14、銅17個の計38個でした。次回は2016年にブラジルのリオデジャネイロで、南米大陸初のオリンピックが開催されます。



大阪府議会において、「第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会の東京招致を支援する決議」が平成24年10月23日になされました。

他に明るい話題としては、iPS細胞の開発で京都大学・山中伸弥教授が2012年のノーベル医学・生理学賞を受賞されました。日本人としては2年ぶり19人目の受賞となります。

また、金環日食で日本中が盛り上がりました。空を見上げながら通勤、通学をされた方も多かったのではないのでしょうか。次回日本で金環日食が見られるのは18年後の北海道でとなります。

2012年を色々な数字で振り返ってみましたが、来年はぜひ良い数字で明るい1年が過せることを願います。